

# 教育センター通信

第6号(通算 111 号)  
令和5年 10月 26日  
三条市教育委員会  
教育センター発行

ほど  
火床の火の心を紡ぐ

小中一貫教育  
トップページ



四つ葉学園 研究授業(算数)  
9月19日(火) 井栗小学校

## 教職員も「個別最適な学び」と「協働的な学び」を

学校教育課 指導主事 今井 由美子

「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」により、教員免許更新制の発展的解消に伴う新たな研修制度が導入されました。令和5年度から「研修履歴の記録の作成」と当該履歴を活用した資質向上に関する校長等による「対話に基づく受講奨励」等の仕組みが導入され、「新潟県教員等育成指標」も一部改正されました。半年が過ぎ、これまでどのような研修に取り組んで来られたでしょうか。昨年度までは自粛されていた授業公開や対面形式の研修会も多く開催されるようになり、感染症禍で加速的に普及したオンライン研修とも併せて様々な研修形態が取り入れられるようになってきました。市の教育センターで実施している研修でも、専門的な知見や実践がある講師の先生方に対面やオンラインで御指導いただきますが、そこに御参加くださる先生方の熱心な姿や真摯な姿勢に学ぶこともたくさんあります。

新しい知識を学んだり、既習事項を確認したりすることによって、一步前進したり、立ち止まって自分の姿を省みたりするのは、児童生徒も教職員も同じです。めまぐるしく変化する社会に対応するために、主体的な学びによって資質・能力を向上させ、専門的分野の力を高めたり、新しい知識を吸収したりすることによって解決力を高めることが必要です。「個別最適な学び」と「協働的な学び」は、児童生徒だけでなく、教職員にとっても大切です。目の前の子どもたちや業務に対応することで精一杯な日々かと思いますが、時には、少し遠方の研究会や研修会、学会等に足を伸ばしたり、見たことがなかった分野の書籍を手にとってみたり、動画を視聴したり、新しい免許や資格の取得に挑戦したりしてみてはいかがでしょうか。学び続けることによって成長するのは、教職員も児童生徒も同じです。子どもたちに「先生も勉強するの？」と聞かれた時に、「するよ。まだまだ知らないことがたくさんあるからね。」「新しいことを学ぶのって楽しいね！分からなくてドキドキすることもあるけどね。」と答えられる教員でありたいと思います。

## 令和5年度 小中一貫教育に関する視察等について(10/13 現在)

感染禍の制約が緩んだ頃から、県内外の自治体の議会や教育委員会などから三条市の小中一貫教育についての視察が増えてきています。当市の取組がいかに関心されているかがうかがわれます。今後も多くの視察が予想されます。視察の受入れをお願いした場合は、御協力をお願いいたします。

No.	日時	視察団	視察内容	会場
1	5/15(月)	京都府亀岡市議会	小中一貫教育	三条市教育センター
2	7/13(木)	新潟市教育委員会	小中一貫教育 義務教育学校	大崎学園
3	7/14(金)	長野県小諸市教育委員会	小中一貫教育	一ノ木戸ポプラ学園
4	7/25(火)	北海道登別市議会	小中一貫教育 子ども若者総合サポート	三条市教育センター
5	8/2(木)	山形県中山町議会	小中一貫教育	三条嵐南学園
6	8/25(金)	中国鄂州市行政団	小中一貫教育	三条嵐南学園
7	9/1(金)	中国北京師範大学珠海園区教授等	まちやま理科学習 小中一貫教育	科学教育センター 三条嵐南学園
8	9/25(月)	富山県上市町教育委員会	小中一貫教育 義務教育学校	大崎学園
9	10/23(月)	福島県二本松市教育委員会	小中一貫教育	三条市教育センター
10	10/31(火)	栃木県栃木市議会	小中一貫教育 義務教育学校	大崎学園
11	11/6(月)	長野県宮田村議会	小中一貫教育	一ノ木戸ポプラ学園
12	11/14(火)	新発田市教育委員会	小中一貫教育 義務教育学校	大崎学園

## 道徳科授業研修 9月27日(水)開催

魚沼市立広神中学校教頭 丸山隆之 様を講師に、オンラインで行いました。研修の途中、4人ずつのグループに分かれ、日々の道徳科授業における悩み等を共有し、その内容について助言を頂くことができました。

「それまで認識していなかった人間の多様性に気づき、新たな考え方ができるようになることが道徳性の深化である」、「内容項目を中心とした授業から能力を中心とした授業（コンピテンシー・ベース）への転換が求められている」などのように、多くの視点で御講演いただき、有意義な研修会となりました。

### 道徳はどこに向かっていくのか (@\_@)

コンテンツ・ベース → 内容項目(徳目・価値)を中心とした授業



コンピテンシー・ベース → 生き方にかかわる行動のスキル・能力を中心とした授業

ただし、道徳科は行為(善行)をねらうものではない(生徒指導と区別)

### 【参加者の感想】

- ・道徳性の深化について、分かりやすくお話しいただきました。考えの多様性に納得し、それを受け入れることができるような道徳授業を目指していきたいと思いました。
- ・年間35時間の道徳を進めていくにあたり、具体的な方法を教えていただいたり、ブレイクアウトルームで出た質問や悩みを寄り添ってご答えいただいたりして、有意義な時間になりました。

## 学園紹介（三条学園）

10月3日(火)、学園の6年生が中学校に集まり、「中学校体験」が行われました。小学生は、中学校の授業を見学したり、部活動を直接体験したりする絶好の機会になりました。中学生にとっては、「先輩」としての言動を自覚する機会となり、互いにとって良い時間となりました。



プレゼンで発表する中学生



授業見学・部活動体験の様子

### 【参加児童の感想】

とても楽しかったし、勉強になりました。小学校よりも一歩レベルの高いところにいると思いました。勉強も部活も、楽しんでいる中学生は、忙しいのに「すごいな!」と思いました。部活も、わざわざ自分たちのために時間をつくってくれて、しかも優しく教えてくれて、とても嬉しかったです。

## 学園紹介（さかえ学園）

さかえ学園では、学区の栄中央小学校、栄北小学校、大面小学校の6年生が栄中学校に集まり授業体験・部活動体験を行いました。授業体験では、中学校職員が、小学校と中学校とのつながりを考えた授業を行い、中学校入学後の学びの姿を考えるきっかけとなりました。部活動体験では、6年生が中学校1・2年生の生徒に指導を受けました。小学生は中学校の先輩から声をかけてもらいながら、和やかに技術を教え合う雰囲気が感じられました。さかえ学園全体では学びの継続性を考慮した体験を進めています。11月には6年生と中学校2年生で、いじめ見逃しゼロスクール集会を栄中学校で実施する予定です。



授業体験（9月28日・栄中学校）



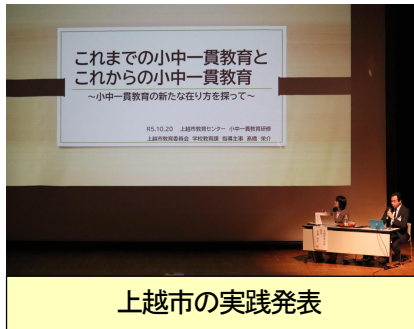
部活動体験（9月28日・栄中学校）

## 小中一貫教育新潟県連絡協議会

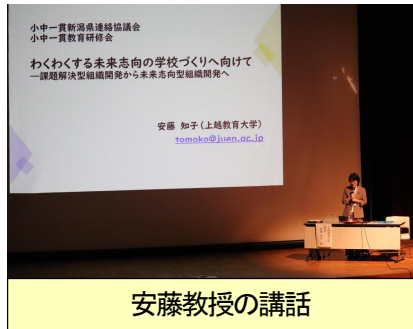
10月20日(金)開催

新潟県内の教職員を対象として、上越市のユートピアくびき希望館を会場として実施しました。

上越市の小中一貫教育についての実践発表、上越教育大学の安藤知子教授の講話、グループ協議と、小中一貫教育の在り方や今後の方向性について学ぶ機会となりました。



上越市の実践発表



安藤教授の講話



参加者のグループ協議

### 【参加者の感想】

- 安藤教授の「対話」「未来志向」の話は、自校でどのように取り組んでいくことができるか考えさせられるものがありました。みんなでもっと未来を語っていきたいと感じました。
- 講演会を受けてのグループ協議の流れが大変よかったです。有意義な情報交換を行うことができ、今後の取組を明確にすることができました。
- 安藤先生の話から、トップダウンではなくボトムアップの姿勢の重要性を感じました。何がしたいのかということに一人で向かうことなく、対話を通してチームとしてビジョンを共有していきたいと感じました。

本研修会は毎年実施しております。来年度の研修会に多くの方の参加をお待ちしております。詳細については来年度案内を送付しますので御覧ください。

## 第2回～第5回 三条学講座を実施しました

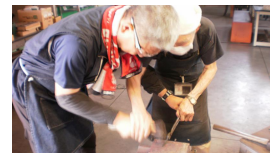
### 第2回「包丁研ぎ講座（包丁研ぎの実習）」

8月2日(水)・3日(木)、16人の参加で、三条鍛冶道場にて実施しました。各自包丁を持参し、包丁の研ぎ方を学びました。3種類の砥石(荒・中・仕上げ)の順に研いでいきます。試し切りで新聞紙がスッと切れ、切れ味抜群の包丁になりました。



### 第3回「和釘づくり講座（和釘づくりの実習）」

8月4日(金)、13人の参加で、三条鍛冶道場にて実施しました。伊勢神宮の式年遷宮に用いられている三条の和釘を作りました。鉄を赤く熱する、叩いて伸ばすという貴重な鍛冶体験となりました。



### 第4回「歴史講座2（ものづくりのまち三条のルーツを探る）」

9月14日(木)、12人の参加で、下田郷資料館にて実施しました。三条鍛冶のルーツと変遷、鋼付けの技術、技術継承、後継者育成等、三条鍛冶の歴史、三条のものづくりへの意気込み、世界に誇る技術の伝承等について学びました。



### 第5回「金物の話講座（三条刃物について 講義と実演）」

9月26日(火)、13人の参加で、三条鍛冶道場にて実施しました。鋼と鉄の違い、刃物づくりの工程や温度管理、三条の刃物工業の現状、若手職人の育成などの講義を聞き、迫力ある名人技「鍛接」を目の前で見ることができました。

